

岡山県マスコット
ももっち&うらっち

岡山県

岡山大学病院 岡山県がん登録室
大塚 理可

Okayama

岡山県の概要

岡山県は中国地方南東部に位置し、北は中国山地、南は瀬戸内海に面しており、北部は日本海側気候で豪雪地帯ですが、南部平野地帯は典型的な瀬戸内海気候で降水量1mm未満の日数が全国最多であり、「晴れの国 岡山」をPRしています。

人口約192万人(2015年5月現在)、27市町村(15市10町2村)からなっています。

山陽道の中央に位置し、岡山駅には山陽新幹線の全営業列車が停車し、中国四国地方の交通の要衝として発展しています。

医療体制

5つの二次医療圏からなり、厚生労働省から指定されている岡山県がん診療連携拠点病院1施設、地域がん診療連携拠点病院6施設、地域がん診療病院2施設及び県認定のがん診療連携推進病院4施設があり、相互に連携を取り合い、より高度ながん医療の均てん化に取り組んでいます。

がん登録の現状

岡山県では平成4年から5がんを対象にがん登録事業を開始し、平成8年から全がんについて登録を行っております。平成23年からは実施委託先を岡山県医師会から岡山大学病院に移し、登録室室長の医師1名、実務者3名で登録業務を行っております。

年間の届出票処理件数は毎年約20,000件で、うち拠点病院からの届出が約60%、推進病院からの届出が約10%となっています。死亡については、平成21年死亡より全死の登録を行っており、死亡小票の処理件数は21,000件前後、そのうち、がん、腫瘍又はその疑いの記載のあるものが約6,000件となっています。

事業開始時より遡り調査を行っていることから、全がん登録を始めた平成8年でもDCN割合19.4%、DCO割合9.0%、IM比2.00と高精度でした。その後も関係医療機関からの協力をいただき、更にごがん診療連携拠点病院への院内がん登録の義務化もあって、平成23年にはDCN割合8.1%、DCO割合3.1%、IM比2.35にまでなり、精度の高いがん登録を維持し続けております。



岡山県がん登録室の様子

岡山県では独自項目、独自システムでの登録を行ってききましたが、院内がん登録項目との項目差、全国集計の項目との差を埋めるための見直しを行い、平成25年症例より標準登録項目に近づけました。

情報の利用

登録情報は、協力機関への予後情報の提供を行っている他、がんの予防、診断、治療等がん医療の向上、がん対策の推進に資する研究への利用の場合、申請により登録情報を提供しています。昨年度は予後情報10件、登録情報3件を提供しております。

がん登録事業開始時より協力医療機関への情報の還元として、年に1度年次報告書を冊子で作成しております。近年は年次報告書をより身近で分かりやすい形にまとめた県民向けリーフレットを作成するなど、がん登録情報の更なる活用を推進しています。

岡山県のがん登録室では、以前よりがん精密検診結果収集事業も行っており、全国がん登録開始後、精密検診の収集データとがん登録のデータをどのように関連付けて活用していくかもこれからの課題です。

全国がん登録に向けて

以前はかなり手狭だった登録室から、昨年5月に広めの明るい部屋に移転しました。実務者も2名が新人に変わり、全国がん登録開始に向けて新たな気持ちでスタートしております。

新人さん達も、今まで行ってきた岡山県独自の定義の知識をつけると同時に、新たに始まる全国がん登録の定義も一生懸命勉強しております。

出来るだけ多くの診療所から全国がん登録に協力を頂き、また今まで届出されていなかった病院も、定義等を正しく理解して下さって初めて、今までのがん登録の精度が維持出来ますので、県、登録室、医療機関がより連携できるように取り組んでいきたいと思っております。

今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。